



# 泡立ちが良く、 低刺激で肌に優しい 界面活性剤

SANYO サンヨー  
PRODUCT プロダクト  
TOPICS トピックス

髪や肌に直接触れるシャンプーやボディーソープは、  
汚れを落とす以外にも、泡立ちや洗い心地など、多くの機能が求められます。  
さまざまな機能を高めながら、SDGsにも大きく貢献する界面活性剤を紹介します。

## 機能のバランスが重要となるシャンプー・ボディーソープ

シャンプーやボディーソープは、食器用洗剤や洗濯用洗剤とは違い、髪や肌に直接使用します。そのため、皮脂汚れを落とす機能に加え、刺激の低さや洗い心地の良さなど、多くの機能が求められます。一方で、髪や肌は皮脂で保湿力を保っているため、洗いすぎると肌トラブルの原因になりかねません。シャンプーやボディーソープでは、洗いすぎずキレイにするという、それぞれの機能の全体的なバランスが重要になります。

日本では毎日、入浴する習慣があり、洗浄性よりも低刺激性や泡立ちの良さ、指通りの感触などのニーズが高い傾向があります。また、欧米を中心に、その製品を使うことで環境にも貢献できる「クリーンビューティ」という考え方も広まっており、サステナブルな原料を使ったり、生分解性を高めたりという動きもあります。こう

したニーズに応えるため、主成分である界面活性剤はさまざまな観点から開発が進められています。

## 性能によって多様な種類がある界面活性剤

この界面活性剤は、分子内に水になじむ親水基と、油になじむ親油基（疎水基）を併せ持っています。洗浄の際は、親油基が髪や肌の汚れを取り囲み、そこに水を流すことで水と一緒に汚れが洗い流される仕組みです。

種類は、大きく分けて、アニオン性、カチオン性、両性、非イオン性の4つがあります。親水基がマイナスに帯電しているものがアニオン性で、プラスに帯電しているものがカチオン性。両性は、水のPHによってプラスにもマイナスにもなるもので、どちらにも帯電しないものが非イオン性です。

一般的なシャンプーやボディーソープには、アニオン性界面活性剤と両性界面活性剤が併用されています。アニオン性界面活性剤は

泡立ちに優れていますが、そこに両性界面活性剤を加えることで、使用の際に手に取りやすい粘度が出せ、かつ刺激もマイルドになるため、両者が使われています。

またアニオン性界面活性剤のなかにも、さっぱりした洗い上がりのもので、しっとり肌になじむものなど多様な種類があり、各メーカーはそれらを組み合わせることで、バランスを保ちながら製品の特長を出しています。

ちなみにカチオン性界面活性剤はプラスに帯電しており、マイナスの静電気を帯びた髪に付着しやすいためコンディショナーなどに、非イオン性界面活性剤はクリームや乳液の乳化剤やクレンジング用の洗浄剤などに使われています。

## 30年以上の歴史を持つ『ビューライト』シリーズ

三洋化成の『ビューライト』シリーズは、シャンプーやボディーソープなどに使われているアニオ

ン性界面活性剤です。1990年に初めて開発・上市された製品で、30年以上の歴史を持つロングランのシリーズとなっています。

なかでも『ビューライト LCA』シリーズは、原料に天然由来のアルコールを使用しており、肌に優しい低刺激が特徴の製品です。基本となる『LCA 30D』に加え、独自の技術でより目的成分の純度を高めた『LCA 25N』や、防腐剤を一切使用しない『LCA 25F』などがあります。ほかにも、低刺激でありながら、泡が立ちにくい硬水でも高い起泡性を発揮し、生分解性も高い『ビューライト SHAA』など、さまざまな要望に対応できるラインアップをそろえています。

また、アニオン性界面活性剤に



加える両性界面活性剤では、少量の添加で粘度を高め、フケの原因菌を抑制する『ピウセリアAMC』、コンディショナーなどに使用されるカチオン性界面活性剤では、溶剤に高級アルコールを使用することで、製造時の効率を格段に高めた『エコノールTM22』など、シャンプーやボディソープに有効な、高付加価値製品を幅広くラインアップしています。

## QOLを高めながら 環境や社会にも 優しい製品を目指して

こうした性能が評価され、『ビューライト』シリーズは現在、海外でも需要が伸びています。三洋化成では、日本のみで行っている生産を、2024年にタイの関係会社サンヨーカセイ（タイランド）リミテッドのラヨーン工場（タイ・ラヨーン県）にも広げる予定。生産能力を倍増し、広く海外にも供給できる体制を整えています。

一方で、原料となるパーム油で



は、適切かつ持続可能な供給体制を整えたアブラヤシ農場やプラントからパーム油由来の原料を調達、使用する「RSPO認証」を取得し、これまで以上に環境やフェアトレードへの貢献度を高めています。SDGでは、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」をはじめ、目標8や12といった産業における項目や、目標13、14、15など環境保全にかかわる項目など、幅広いテーマに貢献しています。これからも、多くの人のQOLの向上と、環境や社会にも優しい製品として、使命感を持って開発を続けていきます。

### ■ 当社の高機能シャンプー・ボディソープ基剤

種類	製品名	化粧品成分表示名称	特長	RSPO認証
アニオン性界面活性剤	ビューライト SHAA	ラウリルグリコールカルボン酸Na、水	弱酸性で起泡力に優れ、泡の安定性も高い。	-
	ビューライト LCA	ラウレス-4カルボン酸Na、水	天然由来のアルコールを原料とするアニオン性界面活性剤。	○
	ビューライト LCA-30D	ラウレス-4カルボン酸Na、水	天然由来のアルコールを原料とするアニオン性界面活性剤。 ビューライトLCAの希釈品。	○
	ビューライト LCA-25N	ラウレス-4カルボン酸Na、水	天然由来のアルコールを原料とするアニオン性界面活性剤。目的成分の純度をさらに高めた商品。起泡力・耐硬水性はより良好。	○
	ビューライト LCA-25F	ラウレス-4カルボン酸Na、水	天然由来のアルコールを原料とするアニオン性界面活性剤。 ビューライトLCA-25Nの防腐剤フリー品。	○
カチオン性界面活性剤	エコノール TM-22	ベヘントリモニウムクロリド、セテアリアルアルコール	毛髪への吸着力が高く、滑らかでコシのある仕上がりが。帯電防止効果が高い。無溶剤が特長。	○
両性界面活性剤	ピウセリア AMC	ラウラミノプロピオン酸Na、水	アミノ酸系シャンプーによる頭皮のかゆみを抑制する高機能なアミノ酸型両性界面活性剤。	○

当社製品をお取り扱いいただく際は、当社営業までお問い合わせください。  
また必ず「安全データシート」(SDS) を事前にお読みください。使用される用途における適性および安全性は、使用者の責任においてご判断ください。